

公開講座・シンポジウムなど

- みえアカデミックセミナー2011(三重大学)
日時◎平成23年7月18日(月・祝)
会場◎三重県生涯学習センター
受講料◎無料 ◎受講対象者◎市民一般
問い合わせ先◎三重県生涯学習センター/☎059-233-1151
※詳細は、決定次第ホームページのイベント情報に掲載します。
第5回 CHORUS JOINT CONCERT
附属幼稚園年長児有志・附属小学校音楽クラブ・附属中学校音楽部・
三重大学合唱団によるジョイントコンサート(特別出演:三重大学管弦楽団)
日時◎平成23年3月26日(土)13:30開演(13:00開場)
会場◎三重県文化会館 中ホール
入場料◎800円(当日1,000円)、幼小中高生500円(当日700円)
※親子室をご利用いただけます。
問い合わせ先◎池山直子(附属小・教諭)/☎090-5622-0704
第7回みえ母乳の会「母乳育児フォーラム」
日時◎平成23年6月26日(日)14:00~16:00
会場◎三重県総合文化センター 生涯学習センター 視聴覚室
連絡先(担当者)◎みえ母乳の会事務局/☎059-233-0166 井岡大義
その他詳細◎講演/「赤ちゃんとお母さんのこころ」~心育と母乳育児~
講師/聖マリアンナ医科大学名誉教授 堀内 勤 先生
参加費500円(みえ母乳の会会員は無料)

催し物

- 三重大学農場直売会
開催日時◎平成23年4月20日(水)、5月18日(水)、6月15日(水)、7月20日(水)
9:30~11:00(毎月第3水曜日開催予定)
会場◎三重大学附属農場(津市高野尾町2072-2)
連絡先◎三重大学附属教育施設チーム/☎059-230-0044(代表)
その他詳細◎【URL】http://www.bio.mie-u.ac.jp/fsc/

三重大えっくすはここに置いてあります!



三重大学附属病院/四日市フロント/みえ県民交流センター(アスト津3F)/伊賀研究拠点/三重県庁/県内高校/県内市役所・役場/県内図書館・公民館/県内関連病院/県内保健所/三重県総合文化センター内/百五銀行/三重銀行/第三銀行/紀南病院/eisu/名古屋市立図書館/津市東京事務所/四日市市政推進部東京事務所/三重県東京事務所

近鉄主要駅(津/江戸橋/桑名/四日市/白子/松阪/伊勢市/宇治山田/五十鈴川/鳥羽/伊賀神戸/桔梗が丘/名張/上野市/青山町)



お願い

三重大学振興基金へのご協力をお願いします

三重大学の目的・使命を達成する一助となることを目的に「国立大学法人三重大学振興基金」を設立しました。次の事業を計画しておりますので、皆様の温かいご支援・ご協力をお願いいたします。
◎学生への奨学金及び災害時の学資援助事業 ◎学生の修学環境整備事業
◎学生・教職員の海外留学その他国際交流活動等への支援事業
◎地域貢献支援事業 ◎その他本学の目的達成に必要な事業
●募金の方法●三重大学振興基金事務局までご連絡いただくか、寄附申込書を本学ホームページよりダウンロードしていただき、ご記入の上ご郵送ください(FAX・E-mailでもOKです)。

三重大学振興基金事務局【総務部総務チーム内】
〒514-8507 津市栗真町屋町1577
TEL: 059-231-9005 FAX: 059-231-9000
E-mail: kikin@ab.mie-u.ac.jp
URL: http://www.mie-u.ac.jp/fund/

メールマガジンのご案内

三重大学では、地域の皆様への情報発信の一環として、メールマガジン配信しています(発行:毎月末)。各種イベント、教育・研究活動上のトピックスなど、「三重大」に関する情報を広く学外へ紹介しています。多くの方々からのご意見・ご提言もいただきながら、地域とともに発展していきたいと考えています。
皆様のご登録を心からお待ちしております。

お申込み方法
次の事項をご記入の上、下記メールアドレスまでメールをお送りください。
1.メールのタイトルは『メールマガジン希望』と記入してください。
2.メールの本文に、以下の事項を添えてください。
①「一般」もしくは、「三重大生(保護者)」
②お住いの都道府県
koho@ab.mie-u.ac.jp

アンケートに答えて...

三重大オリジナル「えっくすくんわくわくシャーペン」をもらおう!!
「三重大X」をよりよくするために、ぜひアンケートにご協力をお願いします。アンケートにお答えいただいた方には、「えっくすくんわくわくシャーペン」をお送りします。
どしどしお寄せください。(先着100名)
\*なお、お寄せいただいた個人情報は、景品発送のみに使わせていただきます。

→「えっくすくんわくわくシャーペン」ご希望の方は、巻末の綴じ込みはがきにご感想等必要事項をご記入の上ご投函ください。



▼街道にたつ石鳥居(榑町)



▲寿栄神社太鼓門

名張藤堂家邸跡
名張藤堂家邸跡
開館時間:9時~17時(月木曜休館)
入館料:一般200円



阿保から初瀬街道を更に西に進むと名張の町です。街道で屈指の名張の町は、藤堂高吉を初代とする名張藤堂家の支配地でした。高吉は藤堂高虎の養子で、本来は藤堂家を継ぐ立場でしたが、高虎に実子高次(みかど)が生まれため、藤堂家の家臣として処遇され、名張に居館を構えて二万石の給知を受ける立場となりました。
名張藤堂家の居館は、町を一望できる高台を占めています。明治以降、分割縮小されてきましたが、当主が日常生活を送ってきた一郭は今日も残り、三重県史跡「名張藤堂家邸跡」として公開されています。また、高吉を祀る隣接地の寿栄神社には、居館の正門である太鼓門が移築されています。
高台の下が、名張八町と称される名張の町です。初瀬街道は高台を取り巻くように折れ曲がって、その裏にも枝町が続くので、名張の町は奥行きが深く、迷路を思わせる所があります。町屋の前には、生活、防火、灌漑用水として名張川からの水路が引き込まれ、穏やかな水音が響いています。
名張の町は新町橋で尽き、街道は名張川を越えて初瀬へと向かいます。一時間ほど平坦な街道を歩けば、名張盆地の西の端にさしかかり、山が迫ってきます。もはや伊賀の国を越え、大和の国に入ろうとしています。

菅原 洋一
三重大学教授(附属図書館研究開発室)



▲新町橋付近の名張川



★名張へは近鉄「名張駅」下車

本誌お問い合わせ先
三重大学総務部総務チーム広報室
〒514-8507 津市栗真町屋町1577
TEL 059-231-9789/FAX 059-231-9000
ホームページ http://www.mie-u.ac.jp/
E-mail koho@ab.mie-u.ac.jp \*ご意見をお寄せください。

三重大 X[えっくす] vol.25

平成23年3月25日発行
●発行/三重大学広報委員会
●編集/三重大学広報室
●印刷/有限会社アートピア artopia@zvtv.ne.jp
◎禁無断転載 本誌掲載の文章・記事・写真等の無断転載はお断りします。